

## 事前評価個表

整理番号	42
------	----

地域（地区）名	わかさ 若狭地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福井県	対象市町村	敦賀市ほか5市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>若狭森林計画区は、福井県の南部のいわゆる嶺南地域に位置し、敦賀市をはじめ2市4町から構成されている。当地域の東部は鉢伏山の分水嶺を境に南越前町と接し、南部は滋賀県、西部は京都府と接している。また、北部は日本海に面している。</p> <p>本計画区の森林面積は8.8万haで、総土地面積の80%を占めている。このうち民有林面積は8万ha（森林面積の91%）であり、スギを主とした人工林は3万ha（民有林面積の38%）となっている。</p> <p>また、本計画区の林道延長は468km、林道密度は5.8m/haとなっているほか、作業道が整備されている。</p> <p>現在、本計画区の人造林については、間伐対象森林（～12齢級）が2.6万ha（人工林の87%）を占め、資源が充実しつつある一方、所有規模が小さく、境界が不明確などの要因により、間伐等の森林施業が進まず、また、間伐材の搬出率も約3割と低迷している状態にある。</p> <p>このため、施業地の集約化や林内路網の整備を進め、搬出間伐等の森林施業を計画的かつ効率的に実施することにより、県産間伐材生産量の増加を図るとともに、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮され、災害に強い健全な森林づくりを推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,050ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,800,000千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.61 (総便益(B) = 21,649,438千円、総費用(C) = 5,982,103千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の多面的機能の発揮や適正な保育管理の推進からみて必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐の遅れた林分の解消や適正な保育管理の推進は、災害に強い健全な森林づくりに有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を生かすために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 若狭

福井県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,767,605	
	流域貯水便益	2,552,921	
	水質浄化便益	4,358,323	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,106,996	
	土砂崩壊防止便益	61,448	
環境保全便益	炭素固定便益	366,019	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,436,126	
総 便 益 (B)		21,649,438	
総 費 用 (C)		5,982,103	
費用便益比	$B \div C = \frac{21,649,438}{5,982,103} = 3.61$		

# 森林環境保全整備事業 若狭地域(福井県) 概要図



凡 例	
計画区界	— (Green line)
事業区域	— (Red line)
森林整備	— (Yellow line)